

道の駅みやこ・たろうでパネル展を開催します ～復興道路・復興支援道路の工事進捗状況～

復興道路・復興支援道路は、震災復興のリーディングプロジェクトとして1日も早い完成を目指し、従来にないスピードで事業を進めているところです。

このたび、地域の皆様や帰省された皆様に、復興道路・復興支援道路の整備が着実に進んでいることを実感していただくために、道の駅みやこ及び道の駅たろうにおいて、復興道路・復興支援道路工事進捗状況のパネル展を開催します。

- 展示日時 : 平成26年8月11日(月) 10:00 から
平成26年8月20日(水) 17:00 まで
- 展示場所 : 道の駅みやこ 1階フロア
道の駅たろう たろう津波防災道路情報館
- 展示内容 : 復興道路(三陸沿岸道路 山田～岩泉)及び復興支援道路(宮古箱石道路)の概要、進捗状況、整備効果についてわかりやすくまとめたパネル11枚
- 備考 : どなたでも無料でご覧いただけます
是非ご覧になってください

《発表記者会：岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、東北専門記者会》

問い合わせ先

【道の駅みやこ・たろうパネル展に関する問い合わせ】

宮古市 都市整備部 建設課 復興道路推進室


室 長 福士 満郎 (内線3621) 電話0193-62-2111 (代表)

【復興道路・復興支援道路の進捗状況に関する問い合わせ】

国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所

副 所 長 戸嶋 守 (内線204) 電話0193-62-1711 (代表)

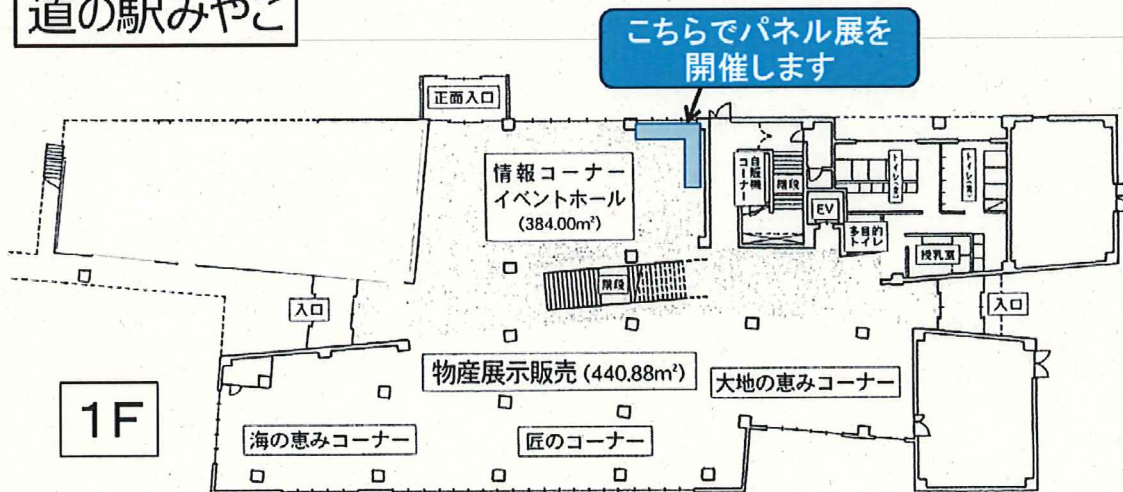
調査第一課長 成田 信太郎 (内線451)

(復興道路・復興支援道路については、で検索できます)

道の駅みやこ 位置図



道の駅みやこ



道の駅たろう 位置図

至 久慈市



至 宮古市街

道の駅たろう



展示パネル(一例)

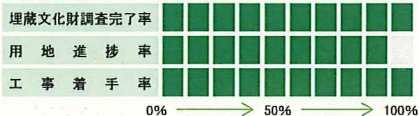
国道
43号

三陸沿岸道路 山田宮古道路 (山田～宮古南)

復興道路

■ 事業の進捗率【岩手県内区間】(H26年5月末現在)

■ 位置図



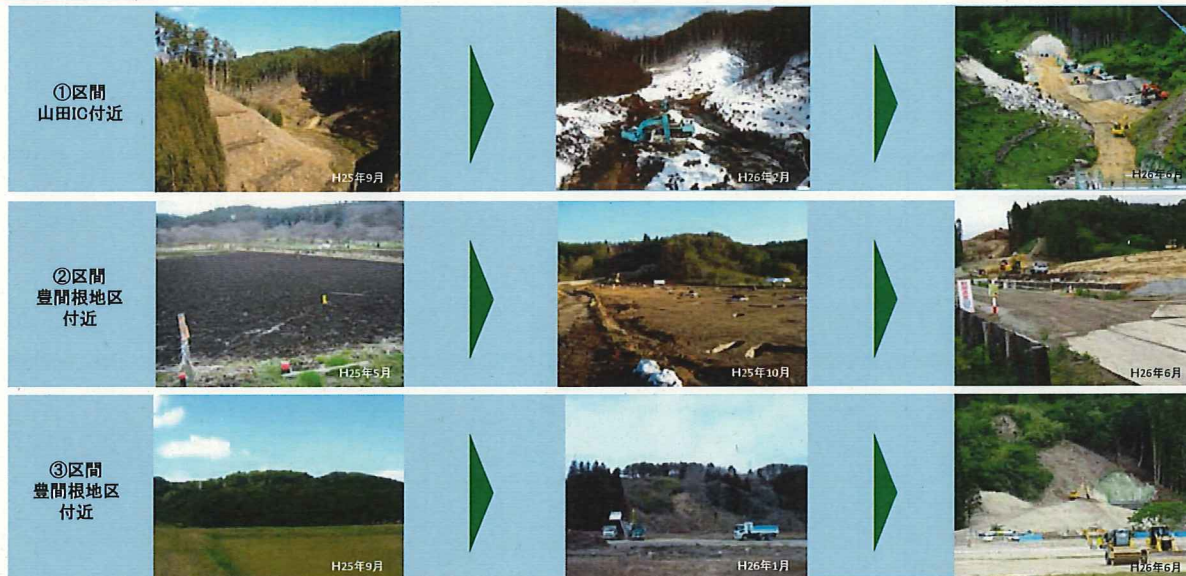
※ 埋蔵文化財調査完了率は対象面積のうち試掘調査が完了した割合
 ※ 用地進捗率は面積ベースで算出
 ※ 工事着手率は計画済延長のうち現地に着手したIC間延長の割合



■ 工事の状況

着手時

現在の状況



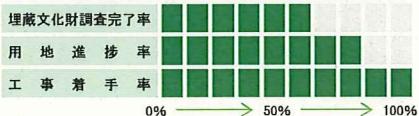
国道
43号

三陸沿岸道路 宮古田老道路 (宮古中央～田老)

復興道路

■ 事業の進捗率【岩手県内区間】(H26年5月末現在)

■ 位置図



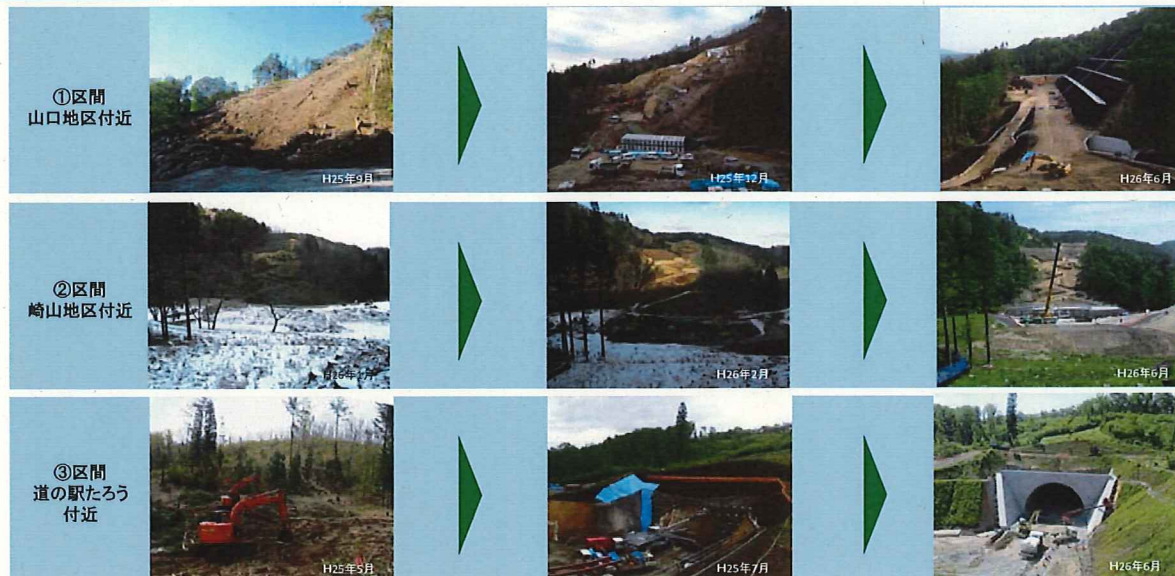
※ 埋蔵文化財調査完了率は対象面積のうち試掘調査が完了した割合
 ※ 用地進捗率は面積ベースで算出
 ※ 工事着手率は計画済延長のうち現地に着手したIC間延長の割合



■ 工事の状況

着手時

現在の状況



展示パネル(一例)

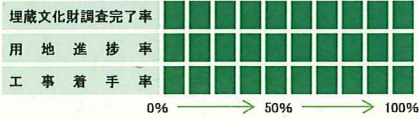
国道
45号

三陸沿岸道路 田老岩泉道路 (老~岩泉)

老~岩泉)

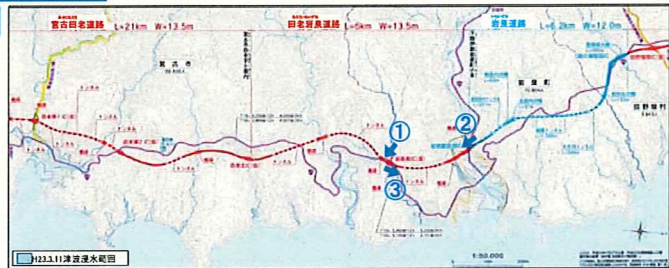
復興道路

■ 事業の進捗率【岩手県内区間】(H26年5月末現在)



※ 埋蔵文化財調査完了率は対象面積のうち試掘調査が完了した割合
 ※ 用地進捗率は面積ベースで算出
 ※ 工事着手率は計画済延長のうち現地に着手したIC間延長の割合

■ 位置図



■ 工事の状況

着手時

現在の状況

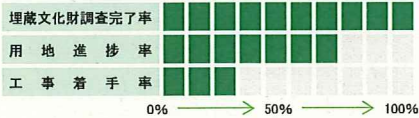


国道
106号

宮古盛岡横断道路 宮古箱石道路 (宮古~箱石)

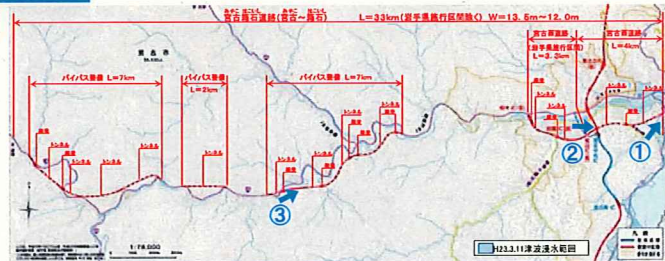
復興道路

■ 事業の進捗率【岩手県内区間】(H26年5月末現在)



※ 埋蔵文化財調査完了率は対象面積のうち試掘調査が完了した割合
 ※ 用地進捗率は面積ベースで算出
 ※ 工事着手率は計画済延長のうち現地に着手したIC間延長の割合

■ 位置図



■ 工事の状況

着手時

現在の状況

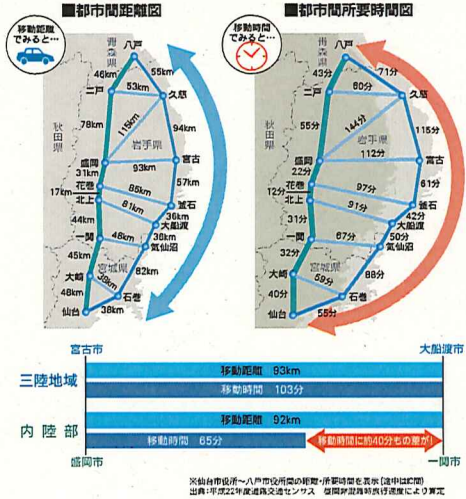


展示パネル(一例)

現状の問題点

三陸地域は、移動に長い時間を要しています。

- ◎内陸部に比べ、移動距離に対する所要時間が非常に長く、様々な場面で格差をもたらしています。
- ◎同じく100kmの距離で、移動に要する時間を比較すると、その差は歴然です。

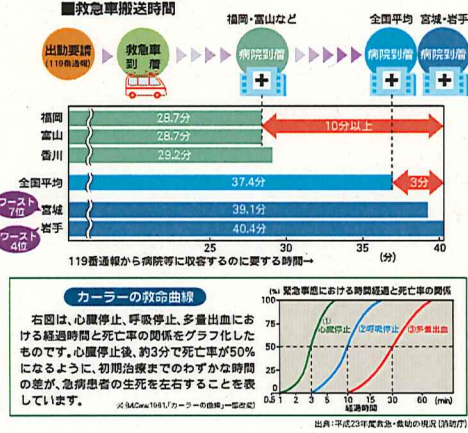


三陸沿岸道路の整備効果

三陸地域を繋ぐ「命の道」

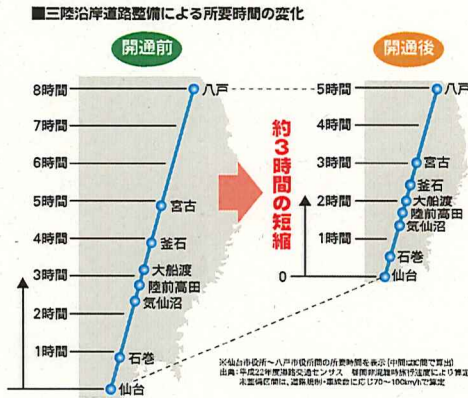
東日本大震災からの力強い復興に貢献します。

- ◎岩手県及び宮城県での搬送は、他県や全国平均よりも長い時間を要しています。



仙台～宮古間が約3時間で結ばれます。

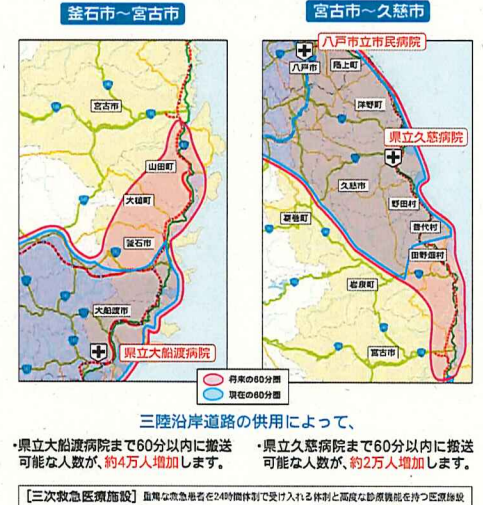
- ◎仙台～宮古間が約3時間(約2時間の短縮)、宮古～八戸間が約2時間(約1時間の短縮)で結ばれます。



整備効果

救急医療施設への搬送時間が短縮されます。

- ◎三次救急医療施設の60分圏が拡大し、より多くの急病者に対する早期の初期治療が可能となります。



東日本大震災の大津波で三陸地域が寸断されました。

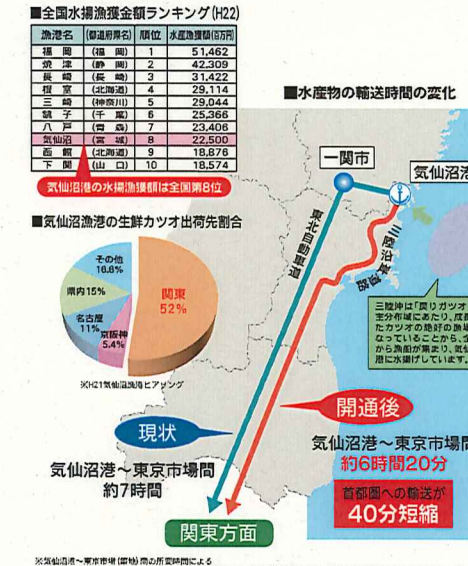
- ◎H23.3.11発生の東日本大震災で、三陸地域の動脈である国道45号が冠水・瓦礫堆積・路面崩壊等で通行不能になりました。
- ◎近傍に災害時に機能する迂回路がなく、多数の孤立地区が発生しました。
- ◎今後も津波浸水被害等により、内陸部や港湾・空港等輸送拠点への連絡途絶や大幅迂回の懸念があります。

東日本大震災時の国道45号寸断箇所



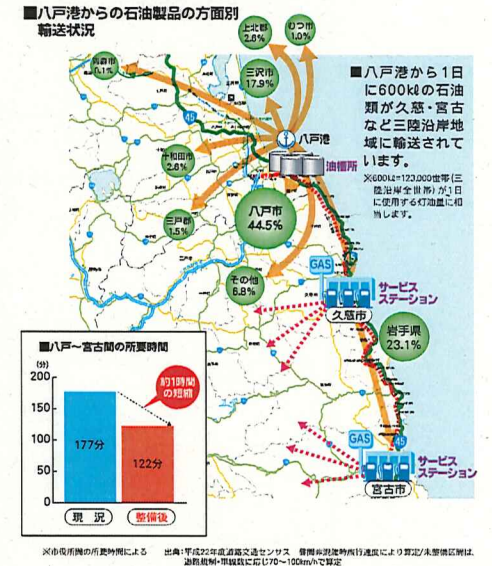
三陸地域の物流の効率化・品質の向上が期待されます。

- ◎三陸沿岸道路等の整備により、搬送時間を短縮し、出荷時の輸送効率化・水産物等の品質向上が図られ、産業経済の復興に寄与します。



災害時にも寸断しない強靭な道路が確保されます。

- ◎三陸沿岸道路の整備により、平時の日用品や災害時の緊急支援助物資等の効率的かつ確実な輸送が実現します。



展示パネル(一例)

現状の問題点

宮古～盛岡を繋ぐ国道106号は信頼性や速達性に問題があります。

◎東日本大震災では、被災地である宮古方面への救援・支援の緊急搬送路として、国道106号が利用されました。

◎国道106号は、通行止めが多数発生(17回/10年)するとともに、防災点検要対策箇所が多数存在(29箇所)するなど、安全性・信頼性の確保が課題となっています。

◎国道106号は急カーブ箇所(49箇所)が連続し、宮古市～盛岡市間の速達性が低く、地域間の連携に支障をきたす恐れがあります。

●信頼性に不安のある緊急搬送路ルート



▲県の緊急支援物資物流拠点(滝沢市)



▲線形不良箇所



▲落石による通行障害

宮古盛岡横断 道路の整備効果

太平洋沿岸と内陸の連携を強化し、東日本大震災からの早期復興に貢献します。

整備効果

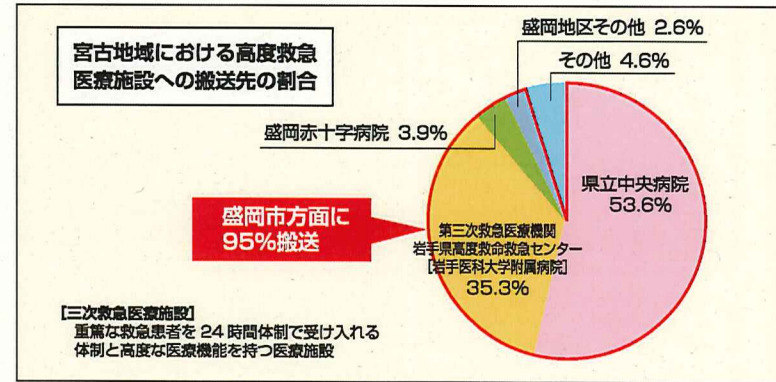
災害時の救助・救援活動を支援します。

◎宮古盛岡横断道路の整備により、沿岸部と内陸部を結ぶ横断軸が強化され、また、緊急搬送などがスムーズとなり、迅速な復旧活動や被災地域の復興に寄与します。

緊急医療施設への搬送時間短縮等、速達性が向上します。

◎宮古地域の医療圏では心筋梗塞等、対応不可能な疾患があり、95%を盛岡市方面に搬送しています。

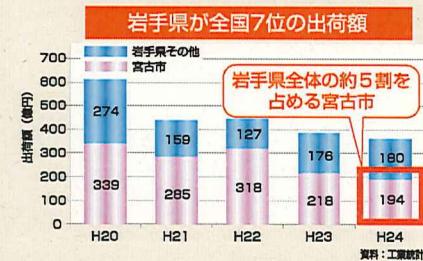
◎宮古盛岡横断道路の整備により、急カーブや急勾配が解消され、緊急搬送の定時制・安定性確保に寄与します。



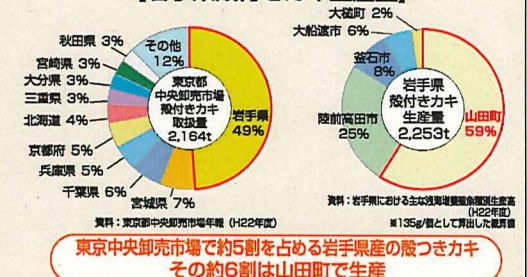
産業拠点との連携・連絡を強化します。

◎当該道路の整備により、宮古港から盛岡市卸売市場まで、宮古市(コネクタ工場)から岩手内陸方面までの所要時間が短縮し、連携・連絡強化が図られ、地域の活性化を支援します。

【岩手県内のコネクタ出荷額の推移】



【岩手県殻付きカキ生産量】



国道106号を経由して出荷